

採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくくり、得点として+1 を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

[1] 19 世紀の 3 つの帝国の維持と立て直し (配点 30 点)

- ※ 11 行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 30 行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。
- ※ 指定語句は指定された形で用いていない場合は加点しない。
- ※ 指定語句に波線を引いていない答案(個数には関わらない)は、全体から 1 点減点とする。

※指定の時期以外の出来事は加点しない(それぞれの時期から 19 世紀末までが加点対象)

1 清朝 (1860 年代以降) ※波線は指定語句

- ① 清朝が洋務運動を推進したこと… 1 点
- ② ①は曾国藩(李鴻章・左宗棠・漢人官僚)が中心となって行ったこと… 1 点
- ③ ①は「中体西用」の精神に基づいて行われたこと… 1 点
- ④ ③は皇帝の専制支配を維持したこと… 1 点
- ⑤ ③は近代的な軍事・産業技術などの導入を目指したこと… 1 点
※具体例：兵器・紡績・造船の工場設立、鉄道敷設、鉱山開発、電信事業、洋式軍隊編制なども可
- ⑥ 日清戦争に敗北したこと… 1 点
- ⑦ ⑥の後、変法運動(戊戌の変法)が推進されたこと… 1 点
- ⑧ ⑦は日本の明治維新を模範としたこと… 1 点
- ⑨ 立憲体制への移行を目指したこと… 1 点
- ⑩ ⑦は康有為が中心となって行ったこと… 1 点
- ⑪ ⑦を行ったのは光緒帝であること… 1 点
- ⑫ 戊戌の政変で変法運動が弾圧されたこと… 1 点
- ⑬ ⑫を行ったのは西太后(袁世凱)などの保守派であること… 1 点
- ⑭ 変法運動の時期に、列強による中国分割が行われていたこと… 1 点

2 オスマン帝国 (1830年代後半以降)

- ① タンジマート(恩恵改革)を開始したこと… 1 点
- ② ①はアブデュルメジト1世が行ったこと… 1 点
- ③ ①は司法・行政・財政・軍事・教育に及ぶ改革であったこと… 1 点
- ④ ムスリムと非ムスリムの法的な平等を目指したこと… 1 点
- ⑤ ④によりオスマン人としての自覚を高めようとしたこと… 1 点
- ⑥ ミドハト憲法が発布されたこと… 1 点
- ⑦ ⑥により、近代的な立憲体制を実現したこと… 1 点
- ⑧ ⑥はロシア＝トルコ戦争の勃発を口実に停止されたこと… 1 点

- ⑨ ⑥または⑧の時のスルタンはアブデュルハミト2世であること…1点
- ⑩ ⑨はパン＝イスラーム主義により全ムスリムの団結を呼びかけたこと…1点
- ⑪ スルタンを中心的な存在に位置付けたこと…1点
- ⑫ ⑪はオスマン帝国領内の非ムスリム系住民の反発を強めたこと…1点

3 オーストリア（ハプスブルク）帝国（19世紀半ば以降）

- ① スラヴ人などの民族運動（ナショナリズム）が高揚した「諸国民の春」が起こったこと…1点
※「マジャール人などの民族運動」「ポーランドやハンガリーなどの民族運動」でも可
- ② 「諸国民の春」を弾圧したこと…1点
- ③ ②により、オーストリアはゲルマン人中心の支配体制を維持しようとしたこと…1点
- ④ プロイセン＝オーストリア戦争に敗北したこと…1点
- ⑤ ④の後にマジャール人（ハンガリー人）に自治を付与したこと…1点
- ⑥ ⑤はアウスグライヒであること…1点
- ⑦ ⑤により、オーストリア＝ハンガリー帝国へと再編したこと…1点
- ⑧ オーストリアはハンガリーと共同でスラヴ人の民族運動の抑制を目指したこと…1点
- ⑨ オーストリアがパン＝ゲルマン主義を掲げたこと…1点
- ⑩ ⑨により、バルカン半島のスラヴ人地域への進出を目指したこと…1点
- ⑪ 領土内の民族問題が複雑化したこと…1点
- ⑫ パン＝ゲルマン主義は、ロシアのパン＝スラヴ主義と対立したこと…1点

4 論理構成点上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、**+1**または**+2**を付けている。加点されない場合は数字なし。

- ① 3つの帝国における改革や取り組みが、その目的を果たせなかった点をそれぞれ明記していること…1点
※清の場合は変法運動の結末を対象とする。洋務運動は一定の成果は果たしているため対象外
- ② 1～3がバランスよく書けていること…1点

[2] 中世ヨーロッパにおける教皇権の推移（配点40点）

- ※ 加点ポイントをすべて満たしていても、それ以外に明白な誤りがある場合は、満点を与えない。
- ※ 加点ポイントの合計が満点に達しても、設問全体の必須事項が欠けている場合は、満点を与えない。

問1(1) 小ピピン、ピピン3世 可

問2 4点満点

- ① ゲルマン人勢力の多くはアリウス派を信仰したこと…1点
※「アリウス派を信奉する東ゴート王国など対抗した」なども可
- ② フランク王国内にローマ人が多かったこと…1点
- ③ 国王がアタナシウス派(カトリック)に改宗したこと…1点
- ④ ③はクロヴィス…1点
- ⑤ アタナシウス派が正統派であったこと…1点。

問4 8点満点

- ① ローマ教皇と神聖ローマ皇帝の対立であったこと…1点
- ② ①は聖職叙任権をめぐる対立であったこと…1点
- ③ ②の権利を世俗の君主が有していたこと…1点
- ④ 世俗の君主：皇帝や国王…1点
- ⑤ ヴォルムス協約により妥協が成立したこと…2点
- ⑥ ⑤の内容：教会や修道院に対する世俗的権利は皇帝が持つこと…1点
- ⑦ ⑤の内容：叙任権は教皇(教会)が握ること…2点

※「俗権と教権を分けた」などは1点

問6 ベーメン(チェコ, ボヘミア)王国 可

問7 14点満点 ※下線は指定語句だが, 引く必要はない(引いていても不問)

- ① イェルサレムがキリスト教の聖地であること…2点
- ② セルジューク朝が東地中海に進出してきたこと…1点
- ③ ②がイェルサレムを支配下に置いたこと…1点
- ④ ②がビザンツ(東ローマ)帝国を圧迫していたこと…1点
- ⑤ ②がアナトリアまで進出していたこと…1点
- ⑥ ビザンツ皇帝(アレクシオス1世)がローマ教皇に救援を要請したこと…2点
- ⑦ ⑥に対して教皇(ローマ=カトリック)がクレルモン宗教会議を開いたこと…1点
- ⑧ ⑦の教皇：ウルバヌス2世…1点
- ⑨ ⑧が聖地奪回を訴えたこと…2点
- ⑩ 十字軍が提唱されたこと…1点
- ⑪ 諸侯や騎士からなる(第1回)十字軍が出発したこと…2点
- ⑫ ⑦は1095年, ⑩は1096年…いずれか書いて1点
- ⑬ ⑧が教皇の威信を示す機会と考えたこと…1点

[3] 言語と文字の歴史 (配点30点)

※ ひらがな表記, b音をv音で表記しているものは不可

※ 漢字の誤り, 音引きの有無や位置が1カ所違うものは原則1点減点

※短答記述問題は各2点

問1 ダマスカス 可

問7 4点満点

- ① スペイン国王が認めた制度であること…1点
 - ② 先住民の労働力としての使役を許可したこと…1点
- ※「先住民の統治を委託した」なども可
- ③ 先住民のキリスト教化を条件にしたこと…1点
 - ④ 植民者(征服者, コンキスタドール)に与えたこと…1点

問13 (1) クレメント=アトリー 可

以上

